

直近の家庭用牛乳乳製品の販売状況の推移を毎週発信してまいります。

お知らせ：次回配信日は5月9日(金)となります

発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

《牛乳類は苦戦が続き8週連続で前年割れ、はっ酵乳ドリンクタイプも減少幅が拡大》

・4/21週の牛乳類の販売個数は、4品目すべて前年水準を下回った。牛乳類の販売個数が前年水準を下回るのは8週連続。内訳を見ると、牛乳は8週連続、成分調整牛乳は16週連続、加工乳は5週連続、乳飲料は42週連続の前年割れとなる。例年であれば気温の上昇とともに販売個数が増加する時期に入るが、今年度は依然として厳しい状況が続いている。3月までは、ドラッグストアでの販売個数が堅調だったものの、4月以降は全業態で減少基調が続いている。

・牛乳消費が伸び悩んでいる背景には、主食のコメの価格上昇と販売数量増加が影響している可能性がある。農水省が公表した資料によれば、4/14週のスーパーでのコメの販売価格は16週連続で値上がりしており、前年同期比は202.1%となっている。一方、販売数量も114.9%と前週から増加幅を拡大させている。このように、コメの高騰と消費の維持により、結果的に家計への負担が増加し、牛乳類を含む他の飲食料品の消費が抑制されている可能性がある。

・北海道では、生乳生産量が前年を上回る水準で推移している。一方で、家庭における牛乳消費は伸び悩み、生乳需給の緩和傾向が継続している。ゴールデンウィーク期間中には、学校給食用牛乳の供給が一時休止するため、関係者内外が連携し、牛乳の積極的な需要喚起と円滑な処理に向けた対応に万全を期することが重要となる。

・はっ酵乳の3品目の合計販売個数は、4週連続で前年水準を下回った。内訳を見ると、ドリンクタイプは販売単価が低下傾向にあるが、前週から前年比の減少幅を拡大させた一方、大容量タイプは34週連続で前年水準を上回った。

・家庭用バターの販売単価は3週連続で上昇し、昨年度に最高単価を記録した2/10週の水準を上回った。こうした中で、販売個数は3週連続で前年水準を下回っている。

《参考》消費拡大運動 JミルクHPリンク先↓

「土日ミルク」

<https://www.j-milk.jp/news/satsunmilk.html>

「牛乳でスマイルプロジェクト」

<https://www.j-milk.jp/news/h4oqb4000009qbz.html>

10月2日に「改訂版・戦略ビジョン」を策定・公表しました

資料ダウンロードは下記URLより

<https://www.j-milk.jp/news/strategicvision202410.html>

【牛乳類の販売速報(推定値)：インテージSRI+】

(1)直近動向(表①参照)

・直近(4/21週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳：97.0%、成分調整牛乳：96.9%、加工乳：94.8%、乳飲料：94.2%。

牛乳類トータルでは同96.6%

※参考：2019年度比(コロナ禍以前)の牛乳類トータルの販売個数は87.6%。

・販売単価は、牛乳：224.9円、成分調整牛乳206.2円、加工乳：219.9円、乳飲料：173.0円。

※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

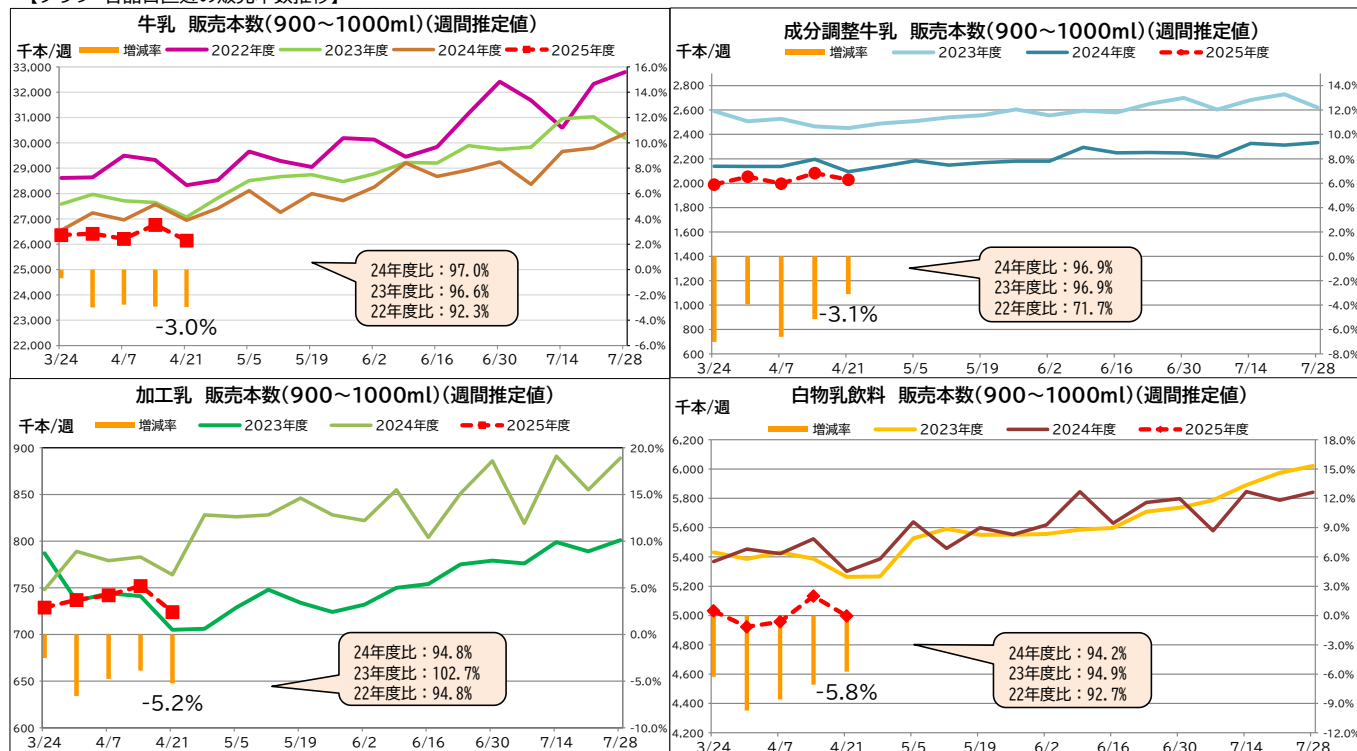
※「2025年度国産牛乳乳製品の需要拡大等事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」

【表① 直近の牛乳類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(単位：千個、円)

品目	区分	3.3-	3.10-	3.17-	3.24-	3.31-	4.7-	4.14-	4.21-	25.4.21- 22.10.24 価格差	25.4.21- 23.3.20 価格差	25.4.21- 23.7.24 価格差
トータル	販売個数	32,731	33,084	33,454	34,119	34,131	33,910	34,736	33,898			
	販売個数前年比	97.0	96.9	98.0	98.0	95.8	96.1	96.3	96.6	32.8	17.9	15.5
	販売単価	215.9	215.4	215.7	215.6	215.8	216.0	215.7	216.0			
牛乳	販売個数	25,227	25,483	25,825	26,368	26,418	26,214	26,769	26,149			
	販売個数前年比	98.1	97.7	98.8	99.3	97.0	97.2	97.1	97.0	34.6	18.3	17.1
	販売単価	224.8	224.3	224.4	224.4	224.4	224.7	224.6	224.9			
成分調整牛乳	販売個数	1,967	1,988	1,972	1,989	2,053	1,996	2,083	2,029			
	販売個数前年比	94.3	94.2	94.5	93.0	96.1	93.4	94.9	96.9	32.5	17.6	13.0
	販売単価	206.4	205.2	206.8	206.3	205.4	206.8	205.3	206.2			
加工乳	販売個数	704	707	741	729	737	742	752	724			
	販売個数前年比	98.8	98.3	100.8	97.6	93.4	95.3	96.1	94.8	29.0	18.7	8.1
	販売単価	218.8	218.0	217.1	218.1	218.5	218.2	218.5	219.9			
乳飲料	販売個数	4,833	4,905	4,916	5,032	4,923	4,957	5,132	4,997			
	販売個数前年比	92.4	93.6	94.9	93.7	90.3	91.4	92.9	94.2	23.3	13.5	8.8
	販売単価	173.3	173.2	173.2	172.7	173.6	173.7	173.4	173.0			

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):インテージSRI+】

(1)直近の動向(表②参照)

直近(4/21週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比90%以上、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同105%以上(3品目合計販売個数は前年同期比90%以上)。

(2)前週(4/14)との比較では、3品目いずれも減少した。

※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売個数については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

※「2025年度国産牛乳乳製品の需要拡大等事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」

【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	3.3-	3.10-	3.17-	3.24-	3.31-	4.7-	4.14-	4.21-
ドリンクタイプ	↘	↘	↘	→	↘	→	↘	↘
個食タイプ	↘	↘	→	↘	↘	↘	↘	↘
大容量タイプ	→	↗	↗	↗	→	→	↗	↗



: 前年比90%未満



: 前年比105%以上110%未満



: 前年比90%以上100%未満



: 前年比110%以上120%未満



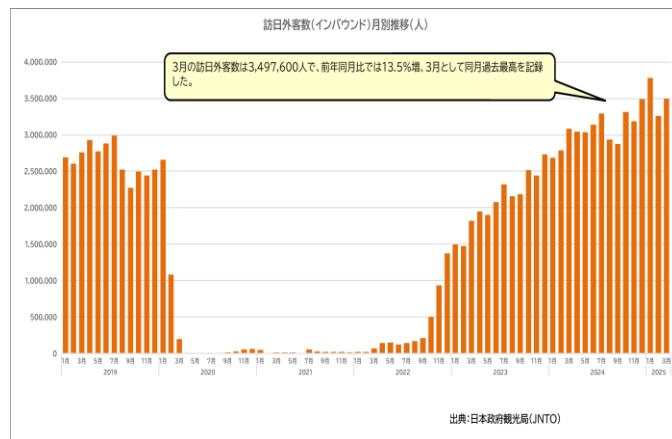
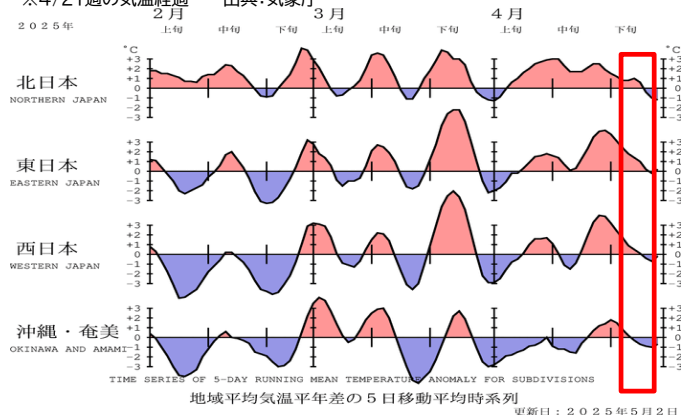
: 前年比100%以上105%未満



: 前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

※4/21週の気温経過 出典:気象庁



※「2025年度国産牛乳乳製品の需要拡大等事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」